

簡単過ぎる安全対策

誰でも扱える、だから広がる現場の「守る」を変える特許アイテム

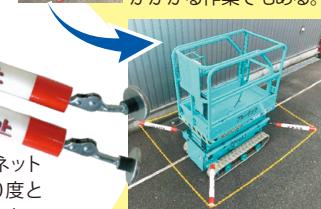
ようじん棒

折りたたみ式注意喚起ボール

オープン価格



カラー コーンとコーンバーによる注意喚起。設置・撤去は難しくはないのだが、地味に労力がかかる作業である。



伸長するとマグネット基部に対して90度となるType-1と45度になるType-2の2種類

高所作業車のパーツのように取り付けられた『ようじん棒』なら、たたんであるポールを伸ばして周囲をチェーンで囲むだけ。そのまま移動することも可能だ。



上昇中に障害物に接触するとアラートが鳴る。軽く接触しても、ソフトな素材なので大きなダメージはない。



専用クランプで取り付けも簡単。しっかりと固定できるので、安心して頭上の注意を任せることができる。



あんぜんi棒

高所作業車 挟まれ防止材 [特許取得済み]^{※1}

オープン価格



YouTube

動画で
見ればひと目で
分かる!

※ようじん棒／登録意匠第1686619号、商標登録第6426074号 あんぜんi棒／商標登録第6808692号 ※1:特許第7434658号

立入禁止エリアを即座に展開
新発想の『ようじん棒』

建設現場や工場など、高所作業車を使用する場所では、上空に加えて地上の安全確保も欠かせない。通常はカラーコーンやコーンバーなどで立入禁止エリアを明示するが、そのたびに設置と撤去を繰り返す作業は、想像以上に負担が大きい。そこで同社が開発したのが、注意喚起ボール『ようじん棒』だ。高所作

が続く。深刻な人手不足に喘ぐ現状では、わずかな手間も惜しまれるだけに、悩みは増すばかり。こうした状況に解決策を提示すべく、高所対策製品が登場。エスアールエス株式会社の発想力が、いま現場から支持を集めている。

頭上の危険を音で警告
特許取得の『あんぜんi棒』

高所作業車のパツのように取り付けられた『ようじん棒』なら、たたんであるポールを伸ばして周囲をチェーンで囲むだけ。そのまま移動することも可能だ。

業車に直接取り付けられるのが特徴で、強力なマグネットにより簡単に固定できる。取り付けたまま移動でき、折りたためば狭い通路の走行も可能に。柔らかなウレタン製で安全速度での軽い接触程度なら問題はない。さらにプラスチックチャーンを組み合わせれば、視認性の高い安全区画を素早く形成できる。

取り付け場所が鉄ならばどこにでも設置できるので、物流倉庫や食品工場の出入口など、関係者以外の立ち入りを一時的に制限したい場合にも最適だ。こうした汎用性が高く評価され、現場で気軽に導入できる安全対策ツールとして着実に浸透。現在までに約3万6000本を売り上げ、人気商品へと成長している。

車に対応する汎用性も『ようじん棒』ゆずりだ。

挟まれ事故や巻き込まれ事故など高所作業のリスクを簡単に軽減できる『あんぜんi棒』は、特許を取得。安価で手軽に作業者の安全を守るツールとして注目を集め、発売からわずか1年で約6000本を販売している。費用対効果の高さに加え、その扱いやすさから現場の評価も良好だ。

現場の安全確保には極めて効果的。素材は『ようじん棒』と同じウレタノン製で、万一の接触時に衝撃を緩和する。また専用クランプによる取付も簡単で、あらゆる高所作業車の上昇時、頭上にある障害物との接触リスクをブザー音で知らせ、警報音が鳴り、作業者に危険を伝える「挟まれ防止材」だ。

上昇中に梁や天井へ接触すると

安全を守るための作業が、時に現場の効率を奪う——。建設や製造業界では、そんな矛盾と向き合う日々が続く。深刻な人手不足に喘ぐ現

業車に直接取り付けられるのが特徴で、強力なマグネットにより簡単に固定できる。取り付けたまま移動でき、折りたためば狭い通路の走行も可能に。柔らかなウレタン製で安全速度での軽い接触程度なら問題はない。さらにプラスチックチャーンを組み合わせれば、視認性の高い安全区画を素早く形成できる。

素材は『ようじん棒』と同じウレタノン製で、万一の接触時に衝撃を緩和する。また専用クランプによる取付も簡単で、あらゆる高所作業車の上昇時、頭上にある障害物との接触リスクをブザー音で知らせ、警報音が鳴り、作業者に危険を伝える「挟まれ防止材」だ。

上昇中に梁や天井へ接触すると

アップされている。こちらは高所作業車の上昇時、頭上にある障害物との接触リスクをブザー音で知らせ、警報音が鳴り、作業者に危険を伝える「あんぜんi棒」と同じウレタノン製で、万一の接触時に衝撃を緩和する。また専用クランプによる取付も簡単で、あらゆる高所作業車の上昇時、頭上にある障害物との接触リスクをブザー音で知らせ、警報音が鳴り、作業者に危険を伝える「あんぜんi棒」だ。

現場で使用される高所作業車を有効に活用する仕様を追求。実地でポールメーカーとの協業を通じて、アイデアだ。開発では、重機用安全简单に導入できる安全対策が欲しい」という切実な声から誕生したアイデアだ。開発では、重機用安全

は、ともにレンタルサービスの取り扱いを始めた「もっと安価で先から寄せられた「もっと安価で簡単に入れる安全対策が欲しい」という声から誕生したアイデアだ。開発では、重機用安全

から鳞の実践的アイテム。工事現場や工場、倉庫などはもちろん、アイデア次第で新たな活用法も見えてくることだろう。好評を受けて、同社では動画投稿サイトにチャンネルを開設し、ひと目で機能が伝わる紹介動画を公開中。こうした情報発信によって認知が広がれば、さらなる普及が期待できそうだ。